



「言葉のはじまり」を調べる

時系列で記事検索できるデータベースの利点を生かして、「言葉のはじまり」を調べる授業を行えます。

「クールビズという言葉が使われるようになったのはいつからか」や、「東京スカイツリー」の建設計画はいつごろ発表されたのか」といった、言葉や物事のはじまりを調べる際に、新聞記事データベースは力を発揮します。

キーワード検索画面にある、「対象期間」を「全期間」に、「表示件数／順序」を「古い順」にし、調べたいキーワードで検索をします。

例えばクールビズで検索をすると、2005年4月29日の「クールビズ エコな夏服、根付くか」が最も古い記事として出てきます。

五輪招致活動や、福島第一原発を巡る報道など、記事を「古い順」にすることでその変遷を辿ることができます。

キーワード入力

クールビズ

キーワード AND OR NOT [関連キーワード参照](#)

異体字を含めて検索
スペース区切りでAND検索になります。また上のボタンで複数のキー

検索オプション

対象期間 3か月 6か月 1年 全期間
年 月 日 から 年 月 日

対象紙誌名 朝日新聞 朝日新聞デジタル エアロ 週刊

朝夕刊 朝刊 夕刊

面名 (分野) [面名参照](#) (例: 社会)

検索結果表示

表示件数 / 順序 20 新しい順 古い順

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00001	2005年04月29日	朝刊	3社会	037	01728文字

(読んだキーワード) **クールビズ** エコな夏服、根付くか

職人たちがビジネスの場で身につける夏の軽装のこと。基本的に「クールビズ」のスタイルを指す。「省エネルギー」に代わる新しい姿勢を準備が公報し、約3200通の中から「クールビズ(COOL Biz)」を選んだ。意味が深い言葉でクールビズマン。

●COO削減、環境省PR
27日、東京・霞が関の環境省で開かれた記者会見は、一風変わったものだった。
小池博之の「ゆるゆる」に示されたのは環境政策ではなく、風貌のスタイル側。会見は、「クールビズ」という新名称の発表だった。
2月に「省エネルギー」の目標達成が困難な状況に陥り、地球の温暖化対策に、国民一人ひとりの意識づけは欠かせない。同省は今年度、大々的なPR作戦に乗り出した。「クールビズ」もその一環だ。
「1日3回必ず」指針で、オフィス部門での二酸化炭素削減につなげたい。社会的理解が深まれば、「クールビズ」でも先立ってなくなる。ボードを手出した小池博之は、ご挨拶ながら、カラマンの言葉をのべて、「こやかに」へとと視線を逸らした。

●そもそも「クールビズ」の前身ともいえる「省エネルギー」の発案は、79年の第2次石油危機にさかのぼる。通産省(現・経済産業省)が中心で、時の大平正芳首相や閣僚たちもそろって半袖の上着を着た。だが、定着しなかった。「風通し」がよいと好評で、ほとんどの人がすでに着用をやめた。た。た一人、こだわりぬかれたと言われるのが福田元首相だ。この26年間、夏になると必ず着用し、首相時代は「レジャー」に合わせた。秘書など「民間」であること、本職が「政治家」に就いているという。息子の福田一朗(衆議院議員)も、半袖上着の愛用者だ。政治家の「半袖」は、半袖上着を指している。ただし、「省エネルギー」の名は出ないとして、「ニュー・サマー・スーツ」と呼ぶ。軽い、体感温度も低く、涼しい。涼感が利点である(国会内では寒いから)。

とはいえ、ビジネス向けの半袖上着は、店舗ではまず見かけない。
31日発表の半袖上着を作っているのは、東京都千代田区の衣料メーカー「カインドウェア」だ。数10年

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00001	2003年12月18日	朝刊	3社会	003	00738文字

600メートル級新タワー構想 在京6局、地上デジタル放送に対応

NHKと在京放送局は17日、地上デジタル放送の機軸をより有効活用するため、現在電波を送信している東京タワー(東京都港区、333メートル)に代わる600メートル級の「新タワー」構想を推進することで合意したと発表した。該構想は極めて広域や団体と連携して経済性や立地条件などを比較検討し、デジタル放送に完全移行する1年未満には新タワーで送信を始める見込みだ。
600メートル級のタワーが実現すれば、カオスのCNタワー(553メートル)を超えて世界一高い建築物になる。6H1社は東京タワーと同様、建設や経営に課題はあからずる。施設使用料を支払う形態を想定している。今月1日から始まった関東地域の地上デジタル放送は、東京タワーに新設した専用アンテナ(250メートル)から送信している。従来のタワー放送と同じ規模の機軸は「ハード」である。両者とも「ハード」な両者ではない。ハードは、高度などの影響を受けやすい。このため「良好な受信環境を確保する」に高345メートル以上の送信機が「必要」との見方が放送局間でも強い。最終的に「新タワー」推進で合意した。
今後には役員で構成する「在京6局新タワー推進プロジェクト」などで、建設工事の事業主や立地条件、経営形態などを検討する。
新タワーをめぐっては97年ごろから首都圏各地で様々な誘致案が浮上した。
東京都台東区では、上野公園での建設を目指して地元商店などでつくる「新東京タワー一区内誘致推進協議会」が誘致運動を展開し、600メートルのタワー案を軸に同公園の整備計画をまとめた。
埼玉県さいたま市新都心への誘致に向けた積極的姿勢を示している。東京タワーを運営する日本電波塔も、数回にわたって新タワーを建設することを検討中だ。

補助キーワード: **東京スカイツリー**

★この記事 [このページTOPへ](#)

[検索履歴画面へ戻る](#)